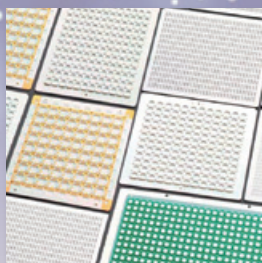


# 第119期 株主通信

平成29年4月1日～平成30年3月31日



## 日本カーバイド工業グループは、 技術の深耕と融合で価値を創造し社会の繁栄に 貢献していきます。

当社グループは、『存在感あるキラリと光る良い企業グループの実現』を  
経営目標としております。

これは、『技術の深耕と融合で価値を創造し、社会の繁栄に貢献していく  
こと』という企業理念のもと、技術力と経営効率の高さを通じて、全てのス  
テークホルダーにとって価値のある企業グループになることを目指してい  
ます。

この経営目標を実現するための経営方針として、

- ①常に技術・事業・会社を進化させる
- ②成長分野への重点的資源配分とグローバル化を推進する
- ③公正な、かつ環境・安全を重視した事業活動を実践する
- ④基本に忠実な業務活動を実践する

ことを掲げ、全力で取り組んでいきます。

## 株主の皆様へ



代表取締役社長  
松尾 時雄

株主の皆様には、平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申  
上げます。

ここに、当社グループ第119期（平成29年4月1日から平成  
30年3月31日まで）の事業概況につきまして、ご報告申し上げ  
ます。

### ●第119期（平成30年3月期）の業績概況

第119期の当社グループの状況は、機能製品分野では、農  
業関連向けが低迷し減販となったものの、東南アジア地域で  
の販売回復などもあり増販となりました。電子・光学製品分  
野では、国内外での需要の拡大などもあり増販となりました。  
一方、建材関連分野では、主力製品の販売が伸びず減販となり、  
エンジニアリング分野では国内工事案件などの完工が減少し  
減販となりました。

このような状況のもと、当社グループの当連結会計年度の  
業績は、売上高は507億6千1百万円と前期比12億5千2百万  
円（2.5%増）の増収、営業利益は32億3千2百万円と前期比  
6億5千4百万円（25.4%増）の増益、経常利益は33億7千5  
百万円と前期比8億7百万円（31.4%増）の増益、親会社株主  
に帰属する当期純利益は27億3千6百万円と前期比21億5百万  
円（333.7%増）の増益となりました。

第119期の配当金につきましては、当期の業績並びに今後  
の事業展開及び内部留保等を総合的に勘案し、1株当たり10  
円増配となる30円とさせていただきます。

### ●次期（第120期）の見通しについて

今後のわが国経済並びに世界経済は、景気は総じて良いも  
の、一部に不透明な要因をかかえており、予断を許さない  
状況にあります。

このような認識のもと、通期の連結業績につきましては、  
売上高520億円、営業利益34億円、経常利益35億円、親会社  
株主に帰属する当期純利益24億円を見込んでおります。

また、次期の配当金につきましては、当期と同額の1株当  
たり30円の年間配当とさせていただきます。予定であります。

### ●中期的目標について

当社グループは、増収増益を継続して達成できる企業グル  
ープを実現するために、グループの総力を挙げて、中期経営プ  
ラン“ACTIVE-2018”の最終年度である2018年度（平  
成31年3月期）目標の達成に向け取り組んでまいります。

2018年度も「コンプライアンスと安全の維持推進は事業活  
動の大前提」とし、その重点施策として、

- ① 確実に成果が上がる重大事故・災害／品質クレーム防止策  
の実行
- ② 増収増益継続への道筋の確立
  - ・事業部門間シナジー、技術の重合・複合化による市場拡  
大と創造により増収を実現する
  - ・資産のさらなる有効活用、より高い業務効率により増益  
を達成する

③ グループ一体化のための組織横断的活動の推進  
これらを引き続き「Proceed to the next stage! 次なる  
成長に挑もう!」のもと実行してまいります。

なお、“ACTIVE-2018”の最終年度である2018年度（平  
成31年3月期）目標は、プリント配線板事業からの撤退等も  
あり見直し、売上高520億円以上、経常利益35億円以上を新  
たな経営指標として、その達成を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご理解と、  
ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成30年6月



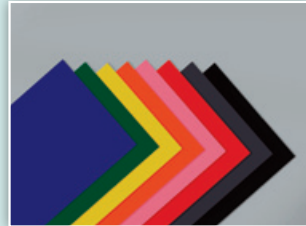
## セグメント情報

### 機能製品事業部門

売上高 230億8千8百万円／セグメント利益 30億8千6百万円



アクリル系樹脂エマルジョン



マーキングフィルム



植物成長調整剤



二輪車用ステッカー

#### 当該事業の主な取扱製品

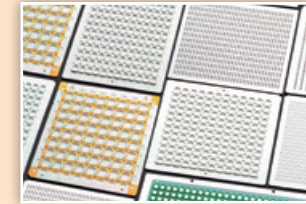
- ファインケミカル製品（医薬向け・農業向け・電子材料向け各種中間原料等）
- メラミン樹脂製品（成形材料、金型クリーニング材等）
- 接着製品（一般ラベル向け、医療向け、光学向け、電子材料向け等）
- マーキングフィルム（屋外看板向け、車両装飾向け等）
- ステッカー（オートバイ・自動車装飾向け等）
- 包装用フィルム（食品包装向け）

ファインケミカル製品は農業関連向けや電子材料向けが低迷し、前期比減収となりました。メラミン樹脂製品は海外向けが堅調に推移し、前期比増収となりました。接着製品は光学関連分野向けを中心に国内外の販売が堅調に推移したほか、トナー用樹脂の販売が持ち直したこともあり、前期比増収となりました。マーキングフィルムは国内向けが振るわず、前期比減収となりました。ステッカーは東南アジア地域での販売が好調に推移し、前期比増収となりました。包装用フィルムは前期並みとなりました。

以上により、機能製品事業部門の売上高は230億8千8百万円と前期比5千2百万円（0.2%増）の増収、セグメント利益は30億8千6百万円と前期比1億1千9百万円（4.0%増）の増益となりました。

### 電子・光学製品事業部門

売上高 126億1千5百万円／セグメント利益 4億1千6百万円



セラミック基板



再帰反射シート使用例

#### 当該事業の主な取扱製品

- 再帰反射シート（道路標識向け等）
- セラミック基板（チップ抵抗器向け）
- 厚膜印刷製品（HIC向け、LED向け等）

再帰反射シートは欧州向けや中国向けなどの販売が好調に推移し、前期比増収となりました。セラミック基板は車載向けやデジタル家電向けなど堅調な需要による増販もあり、前期比増収となりました。

以上により、電子・光学製品事業部門の売上高は126億1千5百万円と前期比14億5千5百万円（13.0%増）の増収、セグメント利益は4億1千6百万円（前期は3億1千8百万円のセグメント損失）となりました。

### 建材関連事業部門

売上高 103億6千3百万円／セグメント利益 6億1百万円

#### 当該事業の主な取扱製品

- 住宅・ビル用アルミ建材
- 樹脂押し出し製品

住宅用アルミ建材は主力の手摺、笠木等の販売が低調となり、前期比減収となりました。

以上により、建材関連事業部門の売上高は103億6千3百万円と前期比5億2千3百万円（4.8%減）の減収、セグメント利益は6億1百万円と前期比7千8百万円（11.5%減）の減益となりました。



アルミ手摺施工例

### エンジニアリング事業部門

売上高 56億2千5百万円／セグメント損失 2億5千9百万円

#### 当該事業の主な事業内容

- 産業プラントの設計・施工

産業プラントの設計・施工は国内向けの大型工事案件の完工が減少しました。

以上により、エンジニアリング事業部門の売上高は56億2千5百万円と前期比17億9千8百万円（24.2%減）の減収、セグメント損失は2億5千9百万円（前期は2億6千8百万円のセグメント利益）となりました。



粉体吹込装置（自社試験設備）

## 国内・海外拠点のご紹介 (平成30年3月31日現在)

### 海外連結子会社

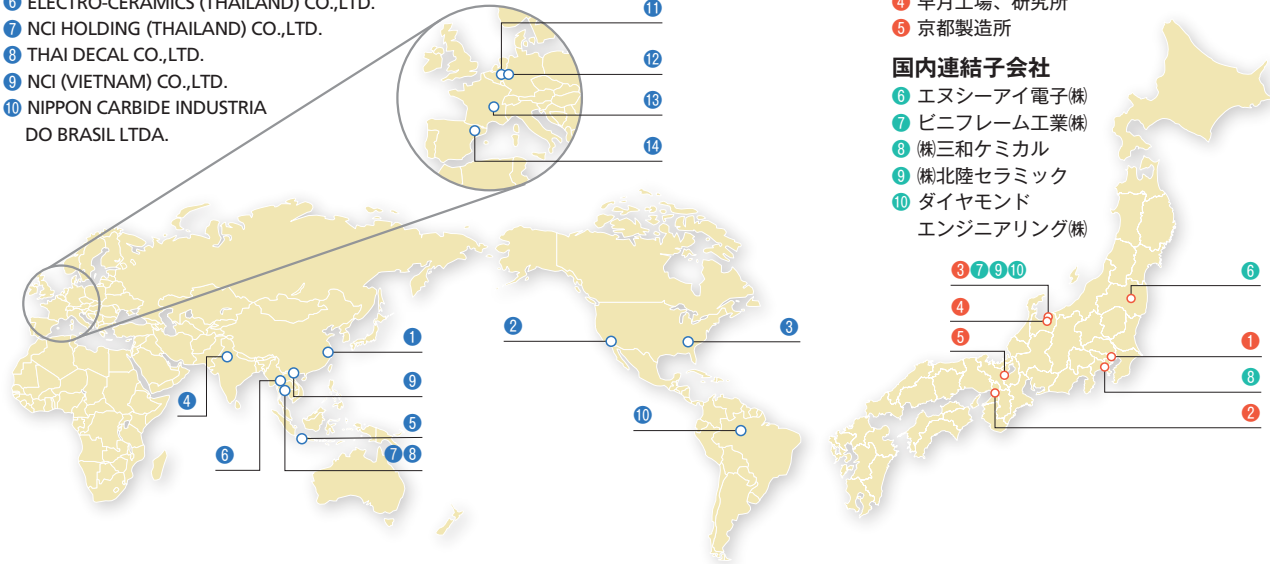
- ① 恩希愛 (杭州) 薄膜有限公司
- ② NIPPON CARBIDE INDUSTRIES (USA) INC.
- ③ NIPPON CARBIDE INDUSTRIES (South Carolina) INC.
- ④ NIPPON CARBIDE INDIA PVT. LTD.
- ⑤ PT ALVINY INDONESIA
- ⑥ ELECTRO-CERAMICS (THAILAND) CO.,LTD.
- ⑦ NCI HOLDING (THAILAND) CO.,LTD.
- ⑧ THAI DECAL CO.,LTD.
- ⑨ NCI (VIETNAM) CO.,LTD.
- ⑩ NIPPON CARBIDE INDUSTRIA DO BRASIL LTDA.
- ⑪ NIPPON CARBIDE INDUSTRIES (NETHERLANDS) B.V.
- ⑫ NIPPON CARBIDE INDUSTRIES (EUROPE) GmbH
- ⑬ NIPPON CARBIDE INDUSTRIES FRANCE S.A.S.
- ⑭ NIPPON CARBIDE INDUSTRIES ESPAÑA S.A.

### 当社国内事業所

- ① 本社
- ② 大阪支店
- ③ 魚津工場
- ④ 早月工場、研究所
- ⑤ 京都製造所

### 国内連結子会社

- ⑥ エヌシーアイ電子(株)
- ⑦ ビニフレイム工業(株)
- ⑧ 株三和ケミカル
- ⑨ 株北陸セラミック
- ⑩ ダイヤモンドエンジニアリング(株)



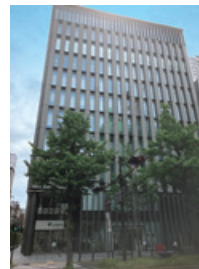
## トピックス

### 大阪支店を新オフィスへ移転しました。

当社は、平成30年4月23日、大阪支店を大阪市中央区平野町三丁目6番1号あいおいニッセイ同和損保御堂筋ビル6階へ移転いたしました。セキュリティや機能性、お客様の利便性の向上を図るとともに、インテリア等を他の拠点と合わせることでグループ統一感・一体感を醸成し、一層の企業価値の向上に努めてまいります。



新支店オフィス受付



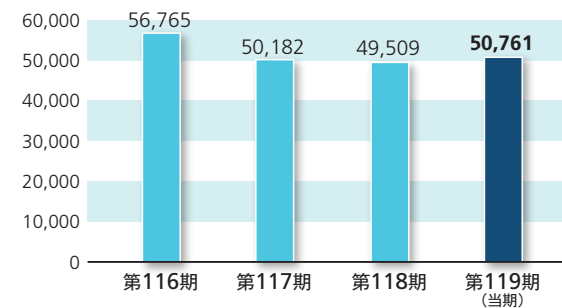
建物外観

## 連結財務ハイライト

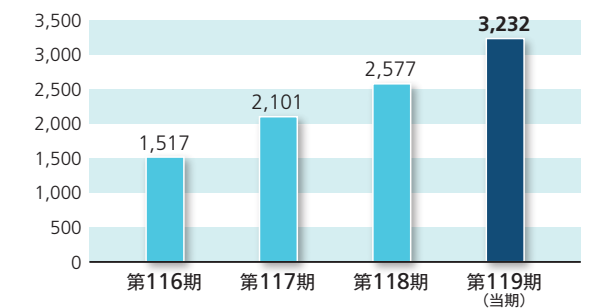
区 分	第116期 (平成27年3月期)	第117期 (平成28年3月期)	第118期 (平成29年3月期)	第119期 (当連結会計年度) (平成30年3月期)
売上高 (百万円)	56,765	50,182	49,509	50,761
営業利益 (百万円)	1,517	2,101	2,577	3,232
経常利益 (百万円)	1,640	2,255	2,568	3,375
親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	△1,815	1,004	631	2,736
1株当たり当期純利益	△22円18銭	12円27銭	7円71銭	334円27銭
総資産 (百万円)	62,045	59,389	60,942	62,114
純資産 (百万円)	21,150	20,449	20,506	24,285
1株当たり純資産額	246円01銭	237円56銭	237円14銭	2,810円34銭

(注) 1. △は損失を示しております。  
2. 平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施したため、第119期の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益及び1株当たり純資産額を算定しております。

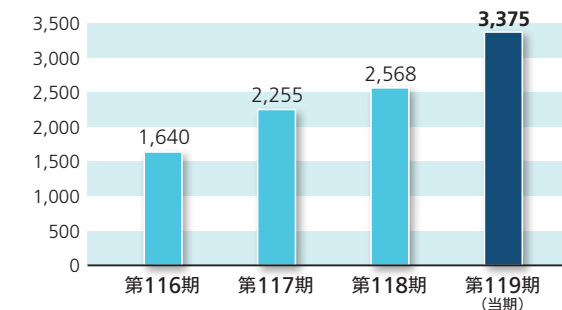
### 売上高 (単位: 百万円)



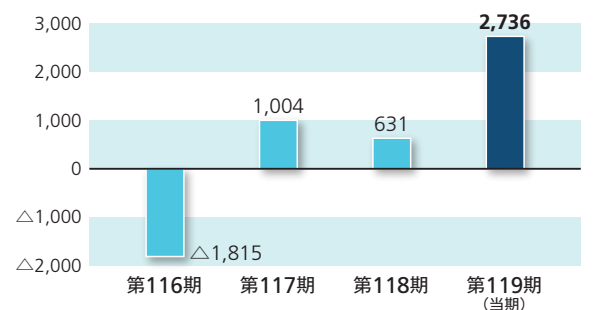
### 営業利益 (単位: 百万円)



### 経常利益 (単位: 百万円)



### 親会社株主に帰属する当期純利益 (単位: 百万円)



(注) 第116期、第117期の数値につきましては、連結子会社による不適切な会計処理に伴う誤謬の訂正後の数値を記載しております。

# 連結財務諸表

## 連結貸借対照表

科目	当期	前期
	平成30年3月31日現在	平成29年3月31日現在
<b>(資産の部)</b>	<b>(62,114)</b>	<b>(60,942)</b>
<b>流動資産</b>	<b>31,880</b>	<b>30,090</b>
現金及び預金	7,047	5,796
受取手形及び売掛金	16,261	15,502
商品及び製品	4,099	4,546
仕掛品	1,482	1,626
原材料及び貯蔵品	1,921	1,765
繰延税金資産	310	169
その他	844	789
貸倒引当金	△86	△106
<b>固定資産</b>	<b>30,233</b>	<b>30,852</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>25,484</b>	<b>27,552</b>
建物及び構築物	7,234	8,005
機械装置及び運搬具	4,935	5,452
工具器具備品	769	847
土地	11,686	12,269
リース資産	754	860
建設仮勘定	103	116
<b>無形固定資産</b>	<b>626</b>	<b>645</b>
<b>投資その他の資産</b>	<b>4,122</b>	<b>2,654</b>
投資有価証券	3,171	2,089
長期貸付金	12	16
繰延税金資産	408	174
退職給付に係る資産	—	6
その他	617	461
貸倒引当金	△87	△93
<b>資産合計</b>	<b>62,114</b>	<b>60,942</b>

(単位：百万円)

科目	当期	前期
	平成30年3月31日現在	平成29年3月31日現在
<b>(負債の部)</b>	<b>(37,828)</b>	<b>(40,436)</b>
<b>流動負債</b>	<b>23,591</b>	<b>25,930</b>
支払手形及び買掛金	7,906	8,466
短期借入金	12,128	11,944
未払法人税等	254	362
賞与引当金	495	486
役員賞与引当金	34	33
事業損失引当金	230	1,026
設備建設関係支払手形	252	970
その他	2,289	2,640
<b>固定負債</b>	<b>14,236</b>	<b>14,506</b>
長期借入金	6,662	7,461
リース債務	612	707
退職給付に係る負債	3,208	3,285
役員退職慰労引当金	56	60
再評価に係る繰延税金負債	2,831	2,831
その他	865	160
<b>(純資産の部)</b>	<b>(24,285)</b>	<b>(20,506)</b>
<b>株主資本</b>	<b>15,169</b>	<b>12,596</b>
<b>資本金</b>	<b>7,034</b>	<b>7,034</b>
<b>資本剰余金</b>	<b>2,404</b>	<b>2,404</b>
<b>利益剰余金</b>	<b>5,742</b>	<b>3,169</b>
自己株式	△11	△10
<b>その他の包括利益累計額</b>	<b>7,840</b>	<b>6,820</b>
その他有価証券評価差額金	1,048	295
繰延ヘッジ損益	15	13
土地再評価差額金	6,300	6,300
為替換算調整勘定	766	538
退職給付に係る調整累計額	△289	△327
<b>非支配株主持分</b>	<b>1,276</b>	<b>1,089</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>62,114</b>	<b>60,942</b>

## 連結損益計算書

科目	当期	前期
	平成29年4月1日～平成30年3月31日	平成28年4月1日～平成29年3月31日
売上高	50,761	49,509
売上原価	36,301	35,996
売上総利益	14,460	13,513
販売費及び一般管理費	11,228	10,935
営業利益	3,232	2,577
営業外収益	643	543
受取利息	126	106
受取配当金	64	114
持分法による投資利益	15	9
助成金収入	172	25
その他	265	288
営業外費用	500	552
支払利息	149	177
手形売却損	0	1
賃貸収入原価	88	73
売電費用	65	42
為替差損	91	62
その他	103	196
経常利益	3,375	2,568
特別利益	374	60
固定資産売却益	159	—
事業譲渡益	—	60
事業損失引当金戻入額	214	—
特別損失	531	1,026
固定資産除却損	74	—
投資有価証券等評価損	19	—
減損損失	436	—
事業損失引当金繰入額	—	1,026
税金等調整前当期純利益	3,218	1,602
法人税、住民税及び事業税	614	662
法人税等還付税額	△263	—
法人税等調整額	△137	112
当期純利益	3,004	826
非支配株主に帰属する当期純利益	267	195
親会社株主に帰属する当期純利益	2,736	631

(単位：百万円)

## 連結キャッシュ・フロー計算書

科目	当期	前期
	平成29年4月1日～平成30年3月31日	平成28年4月1日～平成29年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,740	3,421
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,784	△3,210
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,015	△374
現金及び現金同等物に係る換算差額	22	△128
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	963	△292
現金及び現金同等物の期首残高	3,435	3,727
現金及び現金同等物の期末残高	4,398	3,435

(単位：百万円)

## 連結株主資本等変動計算書

科目	株主資本					非支配株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計		
平成29年4月1日残高	7,034	2,404	3,169	△10	12,596	—	12,596
連結会計年度中の変動額	—	—	△163	—	△163	—	△163
剰余金の配当	—	—	△163	—	△163	—	△163
親会社株主に帰属する当期純利益	—	—	2,736	—	2,736	—	2,736
自己株式の取得	—	—	—	△0	△0	—	△0
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)	—	—	—	—	—	—	—
連結会計年度中の変動額合計	—	—	2,573	△0	2,572	—	2,572
平成30年3月31日残高	7,034	2,404	5,742	△11	15,169	—	15,169
	その他の包括利益累計額						
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	土地再評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額	非支配株主持分
平成29年4月1日残高	295	13	6,300	538	△327	6,820	1,089
連結会計年度中の変動額	—	—	—	—	—	—	—
剰余金の配当	—	—	—	—	—	—	—
親会社株主に帰属する当期純利益	—	—	—	—	—	—	—
自己株式の取得	—	—	—	—	—	—	—
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)	753	1	—	227	38	1,020	186
連結会計年度中の変動額合計	753	1	—	227	38	1,020	186
平成30年3月31日残高	1,048	15	6,300	766	△289	7,840	1,276

(単位：百万円)



## 財務諸表

### 個別要約貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当 期	前 期
	平成30年3月31日現在	平成29年3月31日現在
<b>(資産の部)</b>	<b>(48,970)</b>	<b>(48,353)</b>
流動資産	14,273	12,144
固定資産	34,697	36,209
有形固定資産	18,395	19,551
無形固定資産	73	75
投資その他の資産	16,228	16,582
<b>資産合計</b>	<b>48,970</b>	<b>48,353</b>
<b>(負債の部)</b>	<b>(28,822)</b>	<b>(29,851)</b>
流動負債	17,071	18,314
固定負債	11,750	11,536
<b>(純資産の部)</b>	<b>(20,148)</b>	<b>(18,501)</b>
株主資本	12,798	11,916
資本金	7,034	7,034
資本剰余金	2,404	2,404
利益剰余金	3,372	2,489
自己株式	△11	△10
評価・換算差額等	7,349	6,584
<b>負債純資産合計</b>	<b>48,970</b>	<b>48,353</b>

### 株主資本等変動計算書

平成29年4月1日～平成30年3月31日

(単位：百万円)

	株 主 資 本					評 価 ・ 換 算 差 額 等			純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	土地再評価 差額金	
		資本準備金	その他 利益剰余金 繰越利益 剰余金						
平成29年4月1日残高	7,034	2,404	2,489	△10	11,916	284	△0	6,300	18,501
事業年度中の変動額									
剰余金の配当			△163		△163				△163
当期純利益			1,046		1,046				1,046
自己株式の取得				△0	△0				△0
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額(純額)					—	765	0	—	765
事業年度中の変動額合計	—	—	882	△0	881	765	0	—	1,647
平成30年3月31日残高	7,034	2,404	3,372	△11	12,798	1,049	—	6,300	20,148

## 会社情報

### 会社の概要 (平成30年3月31日現在)

社 名	日本カーバイド工業株式会社 NIPPON CARBIDE INDUSTRIES CO.,INC.
証 券 コ ー ド	4064 (東証1部上場)
設 立	1935年(昭和10年)10月
資 本 金	7,034,055,242円
従 業 員 数	連結 3,451名 単体 427名
本 社	〒108-8466 東京都港区港南二丁目16番2号
支 店	大阪
工 場	魚津、滑川、向日
研 究 所	滑川
電 話	03-5462-8200
U R L	http://www.carbide.co.jp/

### 役 員 (平成30年6月28日現在)

代表取締役社長	松尾時雄
代表取締役	芹沢洋
取締役	長谷川幸伸
取締役(社外)	近藤基
取締役(社外)	小竹延和
常勤監査役(社外)	熊澤信介
常勤監査役(社外)	新保貴史
監査役(社外)	梅本周吉

### 執行役員 (平成30年6月28日現在)

社長執行役員	松尾時雄※
常務執行役員	芹沢洋※
執行役員	長谷川幸伸※
執行役員	新夕秀典
執行役員	上前昌己
執行役員	梶井久稔
執行役員	横田祐一
執行役員	角田尚久

※印は取締役を兼務

## 株式の状況 (平成30年3月31日現在)

◎当社は、平成29年10月1日をもって、当社普通株式について10株を1株に併合する株式併合を行うとともに、定款変更を行ったため、発行可能株式総数は108,000,000株減少し、12,000,000株となり、発行済株式の総数は73,746,269株減少し、8,194,029株となりました。また、同日をもって、単元株式数を1,000株から100株に変更いたしました。

発行可能株式総数..... 12,000,000株

発行済株式の総数..... 8,194,029株

株主数..... 6,953名

### 大株主 (上位10名)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
旭硝子株式会社	781	9.54
デンカ株式会社	409	5.01
株式会社三菱東京UFJ銀行	332	4.07
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	283	3.46
明治安田生命保険相互会社	280	3.42
東京海上日動火災保険株式会社	270	3.30
三菱UFJ信託銀行株式会社	241	2.95
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	223	2.73
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	159	1.94
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口5)	126	1.54

(注) 1. 持株比率は自己株式 (6,490株) を控除して計算しております。  
2. 株式会社三菱東京UFJ銀行は、平成30年4月1日付で株式会社三菱UFJ銀行に商号変更しております。

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
公告方法	電子公告 公告掲載URL <a href="http://www.carbide.co.jp/">http://www.carbide.co.jp/</a> ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

### 【ご注意】

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

## 当社ホームページのご案内

ホームページアドレス

<http://www.carbide.co.jp/>



 日本カーバイド工業株式会社

〒108-8466 東京都港区港南二丁目16番2号  
Tel 03 (5462) 8200 Fax 03 (5462) 8244

